

フランス演劇クレアシオン

シアターX提携公演

舞台は飛行機の中。

えっ、こんな事が起こっていいの!?

フランスが誇る劇作家アレグルの

鮮やかな手法で人物が交錯し

様々な謎が解けて行く。

フランス現代劇

Vol 2037

フライト No.2037

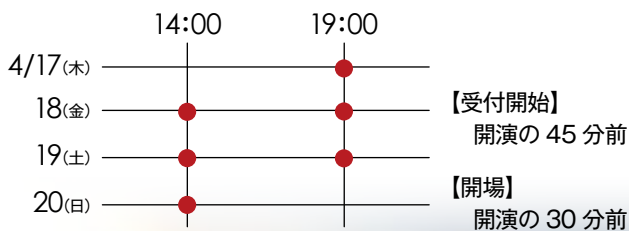
作 ジャン・ポール アレグル

Jean-Paul ALEGRE

翻訳・演出 岡田正子

公演期間


2014年4月17日(木) → 20日(日)



チケット料金
(日時指定・全席自由)

前売 3,500円 / 当日 3,800円
学生 2,500円 ・ 12才以下 2,000円

劇場

東京/両国 シアターX 
東京都墨田区両国 2-10-14 / Tel.03-5624-1181



フランス現代劇

Vol 2037

フライト No.2037

作 ジャン・ポール アレーグル

Jean-Paul ALEGRE

翻訳・演出 岡田正子

日本初演

1999年初演。テアトル・デュ・フィル・アリアンヌ。

元女優でアレーグルの妻・アニーク・キューニ、そして娘のマリヌも子役で出演。アレーグルにとっても愛着のある作品のようだ。どことなく、数年後に初演された「行き交い」(Lettres croisées)の手法を思わせるところがあるのも興味深い。

このところ日本では、オスプレイだのボーイング787など話題になっていて、<飛行機って本当に大丈夫なのかな?>と思うことが多い。

そんな今だからこそ、1999年の初演当時より、

私たちにとって身近に感じられる作品なのでは、と思う。

岡田正子



ジャン・ポール アレーグル (作家)

1951年生まれ。現代劇作家の中で最も注目されている一人である。作品は、英語、ドイツ語、スペイン語を始め、ロシア語、アラブ語、日本語、エストニア語など20カ国語に訳され、35カ国にも及び国々で上演されている。また、フランスで最も上演回数が多い作家の一人である。2004年『アニェス・ペラドヌ』でアカデミーフランセーズ(エミール・オージェ賞)受賞。『行き交い』では2003年リヨン市フェスティバル劇作家賞受賞。2007年にはフランス政府より文化勲章(シュバリエ)が贈られた。2011年1月までフランス劇作家協会会長を務めたのち、SACD(劇作家並びに劇作曲家協会)の演劇部門ディレクターに選出される。〈太陽劇団〉で、アリアンヌ・ムヌーシュキンのアシスタントをしていたこともあり、その時から〈テアトル・デュ・フィル・アリアンヌ〉を1970年に設立。以後、現在に至るまで精力的に数多くの優れた作品を生み出し、訳・脚色も手掛けている。妻のアニーク・キューニは元女優で、アレーグルによると大事な助言者であるとのこと。



岡田正子 (翻訳・演出家)

1929年東京生まれ。小林正、鈴木力衛にフランス語を学ぶ。文化学院卒。1952年に渡仏、パリで日本人として初めてベラ・レーヌ女史に師事。ベラ・レーヌ・システム(演技の基礎訓練)を教えることを許される。1964年帰国後、現在に至るまでその普及に努める。1969年から83年までニコラ・バタイユの日本での演劇活動を訳者、演出助手の立場で支え、24作品に参加。『テリエ館』は1975年度の、『ボンソワール・オフエンバック』は1976年度の芸術祭優秀賞を参加者全員が受賞している。1983年より、日本に知られていないフランスの優れた作品を翻訳・演出し、初演を続ける。サッシャ・ギトリー(5作品)、ルイ・カラフェルト(3作品)、エリック・ロメールなど多数。アレーグルとは『急流の男』『人生の始まりは劇場から』(02年初演)で出会う。その後、数々のアレーグル作品の日仏同時初演、日本初演の翻訳・演出を手掛ける。2011年4月には『天国への二枚の切符』の世界初演を果たし、翌2012年再演、好評を博す。1996年フランス政府より芸術文化勲章(シュバリエ)を贈られる。また2011年、長年に渡るフランスの作家紹介・擁護に対して、フランスのSACD(劇作家並びに劇作曲家協会)から最高の荣誉である「ボーマルシエ賞」(メダル)を、日本人として初めて贈られる。

協賛 鹿島建設株式会社

協力 THEATRE MOMENTS J.CLIP オフィス★怪人社 ツラヌキ怪賊団
テアトルエコー エスプレイング 株式会社ヴォルテックス たむらプロ フリークルーズ
SOMEYA・本舗 RIZE プロダクション ミツヤプロジェクト アトリエ・シャノールトリイ

制作・主催 フランス演劇クレアシオン

あらすじ

ケネディ空港では、CITA 航空・アビオトランス機ジュネーブ行 2037 便の搭乗手続きが始まっている。

ベテラン機長をはじめ、ジュネーブで両親が待っている女の子、ロシアの新進バイオリニスト、ポーランドの孫に会いに行く老婦人ほか次々に登場ゲートに向かう。

職業も年齢も、そして性格も違うアレーグルの描く人物たちが、ジュネーブ行きの飛行機の中で、いったい何をしでかすのだろうか？ そして地上に残った人たちは？ アレーグル独特の手法で、大勢の人物たちの間をくぐり抜けて、ストーリーがみえてくるだろう。アレーグルは観客の想像力を信じて書く作家なので、これ以上は言わない方がいいかもしれない。

STAFF

美術	皿田圭作	音楽	北爪道夫
音響	富田健治	照明	朝日一真
衣装	井上よしみ	舞台監督	川前英典
演出助手	高橋信康	舞台写真	中川忠満
制作協力	鳥居慎吾 貝山幸子		
チラシ制作	(株)ミュゼ		
著作権管理	(株)フランス著作権事務所		

2014年4月17日(木) → 20日(日)

[全6回公演]

チケット料金 (日時指定・全席自由)

前売 3,500円/当日 3,800円
学生 2,500円 (公演当日学生証提示)
12才以下 2,000円

チケットご予約・ご購入

[インターネット (パソコン)]

<http://frenchdramacreation.com>

[インターネット (携帯)]

<http://cnfti.com/met8113/>

[電話予約 (カンフェティータケットセンター)]

TEL 0120-240-540 (平日 10時~18時)



公演場所

シアターX (東京・両国)

東京都墨田区両国 2-10-14 Tel.03-5624-1181



- ・JR 総武線両国駅西口下車 左へ約3分
- ・都営地下鉄大江戸線両国駅 A4・A5出口約8分

[Eメール]

2037-staff@frenchdramacreation.com

[フランス演劇クレアシオン]

<http://frenchdramacreation.com>

●公演期間中のお問合わせ

シアターX TEL 03-5624-1181

お問い合わせ